

おりもとだまり

2017年
秋号
vol.35



豊中 **織元**®



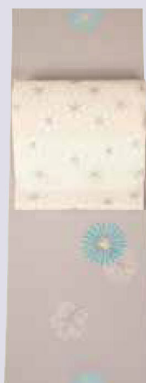
平安貴族の衣裳に用いられた優雅な七宝文
七宝は金、銀、瑠璃、玻璃、珊瑚、瑪瑙、真珠
の貴重な宝を指しますが、
いつからかこの文様の名になりました。
上品な古典柄を、すっきりとしたデザインと配色で
都会的な1枚に仕上げました。



やわらかな女性らしい
ピンクの新田紬
荒川真理子作「野ぶどう」染帯
気品ある大人かわいい着こなし



黒よりもやわらかさを感じさせる消炭色
和鈴と鈕を線描きで描いた小紋
柄の彩りで若々しさのある
織名古屋帯



お洒落に雲鈴松を
飛ばした秀逸な小紋
白銀とピンクの織名古屋帯
ワンピースドレス感覚の装い



紅葉の艶やかな
様子を描いた
人間国宝 稲垣稔次郎作小紋
大胆なしゃれ袋帯



婚礼道具の貝桶文様の
品格のある付け下げ
重厚感と優しさを
併せ持つ袋帯

七五三のお祝い

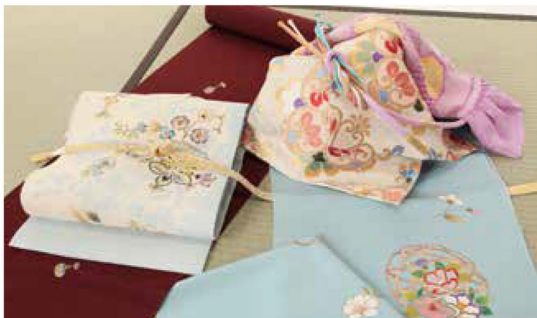


三才は被布でかわいらしく
七才は大人になっても着られるように仕立てます
お手持ちの着物のあげ直し 小物合わせ
記念写真も お手伝い致します



意匠化された菊唐草を現代的な配色で仕上げた訪問着
西陣でも数少ない織手しか織ることのできない
梶笥の変わり佐賀錦の袋帯

秋のおよばれはおでかけ小紋で



奥行きのある葡萄茶色に
ベネチアングラスを繊細に描いた小紋
大人の上品で遊び心のある装い

四季の花龍が愛らしい小紋
淡すぎない水色縮緬地なので春・秋・冬に
袖を長めにすればより華やかに

きものと出逢いと



お客様から

大切な友人の結婚式には、こちらのお着物で参列したいなと
考えておりました。

この頃は体調があまりすくれなかったこともあり、
着付けもお願ひし、着心地良く、

沢山の方にお褒めの言葉をいただき
素敵な一日を過ごすことができました。

いつも、お気に入りのお着物に出会える織元さんにお
伺いさせていただくのが、私の楽しみです。

次は、息子のお宮参りに着て出掛けるのが楽しみです。

これからも大切な日は

織元さんのお着物で過ごしたいと思っています。

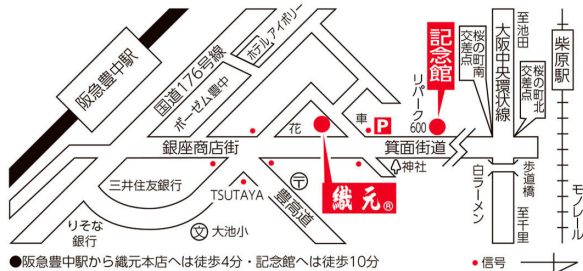
織元着方教室 ~"きもの"を肩ひじ張らずに 楽しんでいただけるように~

ところ 織元記念館 受講料 5,000円/4回

とき 毎週土曜日・10時から12時・14時から16時

毎週木曜日 (前結び教室)

<わくはくはお問い合わせください>



●阪急豊中駅から織元本店へは徒歩4分・記念館へは徒歩10分
記念館へお車でお越しの場合はリパーク600が隣にあります

〒560-0021 豊中市本町4-1-8

http://www.orimoto-t.co.jp TEL 06-6849-5298(代) FAX 06-6852-1021